謹啓　陽春の候、みなさまますますのご清栄のことと拝察申し上げます。

　さて、先般亡父○○逝去に際しましては、ご丁重なるご弔詞ならびにご芳志賜りまして、まことにありがとうございました。

　長年、ご懇意にしていただいた岡本さまのお言葉をいただき、父も光栄に思っていることと存じます。

　父は、前日までいつもと変わらぬ生活をしておりましたので、私どもも突然のことに驚くばかりで、まだ信じられない思いでおりますが、岡本さまのお言葉を賜り、深い悲しみが和らいでいく思いがいたしました。

　父になり代わりまして、生前に賜りました格別のご厚情に、心から感謝申し上げます。

　本来ならば、お伺いしてお礼申し上げるところですが、略式ながら本状をもってお礼申し上げます。

令和○年４月